

環境学研究所

アドミッション・ポリシー（学生受入方針）

本研究科は、環境学を支える自然，都市，社会を対象とした伝統的な専門分野を深化させるとともに，専門分野の融合により環境問題解決への道筋を示し，さらに，その成果を専門分野の発展に還元させることを目指します。

幅広い環境問題に対応するために，本研究科は，惑星としての地球とその表層の大気・水圏の性状，動態，変遷を探究する地球環境科学専攻，都市の社会基盤，建築物などの人工環境を創造し，水・緑・土壌などの自然環境との調和を図る都市環境学専攻，人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考究し，環境政策を提言する社会環境学専攻，から構成されています。

これらの文理にまたがる専攻間の連携によって，持続可能かつ安全・安心な社会の実現をめざす環境学の研究・教育を実践します。

Department of

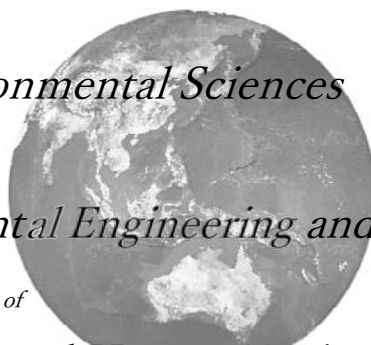
Earth and Environmental Sciences

Department of

Environmental Engineering and Architecture

Department of

Social and Human Environment



(1) 入学者受入れの方針

博士前期課程

専門分野の深化，横断的な思考力の獲得，環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち，確かな基礎学力を持つ人を，広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

博士後期課程

専門分野の高度な学力，専門知識の幅広い応用力を有し，専門分野の深化，横断的な思考力の獲得，環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち，研究者やリーダをめざすために十分な研鑽を積んだ人を，広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

(2) 選抜の基本方針

博士前期課程

専門分野および英語の基礎学力，専門知識の応用力，横断的思考力，勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験，口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては主に受験生の基礎学力を評価し，口述試験においては主に学生の意欲を評価します。

博士後期課程

研究者や社会で活躍するリーダをめざすために必要な専門分野および英語の学力，専門知識の応用力，横断的思考力，勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験，口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては研究者や社会で活躍するリーダをめざすための学力を，口述試験においては十分な研鑽実績と意欲を評価します。

環境学研究科（地球環境科学専攻）の紹介

地球環境科学専攻では、地球全体を人類活動を含む一つのシステムとしてとらえた新しい地球環境科学の教育・研究を行うことを目指している。地球惑星科学系（地球環境システム学、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、生態学、地球惑星ダイナミクス、地球史学）、および大気水圏科学系（地球環境変動論、気候科学、物質循環科学、地球水循環科学）の教育・研究を行う2系から成る。教育カリキュラムは2系で共通である。地球惑星科学や大気水圏科学の広い範囲にわたる教育・研究を行うとともに、地球環境問題に関する科学的な知識に基づいて地球環境の観測・評価・診断ができる能力を持った人材の育成を行う。

講 座 名	教 員			
	教 授	准教授	講 師	助 教
地球環境システム学	高野 雅夫	平野 恭弘	宮坂 隆文	
地質・地球生物学	竹内 誠 道林 克禎	HUMBLET Marc 高橋 聡 額 佑衣	林 誠司	
地球化学	日高 洋 三村 耕一	平原 靖大 浅原 良浩		橋口 未奈子
地球惑星物理学	渡邊 誠一郎 熊谷 博之	城野 信一 並木 敦子		
生態学	依田 憲 杉谷 健一郎 庄子 晶子	後藤 佑介		
地球惑星ダイナミクス	鷺谷 威 渡辺 俊樹	田所 敬一 山中 佳子 橋本 千尋 伊藤 武男 寺川 寿子	前田 裕太 市原 寛	
地球史学	吉田 英一 北川 浩之 南 雅代 門脇 誠二	加藤 丈典 束田 和弘 西田 佐知子	藤原 慎一	小田 寛貴
地球環境変動論	篠田 雅人 中塚 武	坂井 亜規子		
気候科学	藤田 耕史 須藤 健悟	植村 立 松井 仁志		永尾 一平
物質循環科学	角皆 潤 長田 和雄	中川 書子	山崎 敦子	阿部 理 西田 民人
地球水循環科学	坪木 和久 檜山 哲哉 高橋 暢宏 持田 陸宏 相木 秀則	増永 浩彦 篠田 太郎 栗田 直幸	藤波 初木	三野 義尚 大畑 祥